令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	60

担当課	教育委員会	担当課長	江上 智恵
事業担当者	山邉 克彦	一次評価者	安部 憲一郎
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	文化交流センター指定管理業務		
予算科目	10 款 5 項 11 目		
予算事業名	文化交流センター管理運営事業費		
総合計画での位置づけ（施策名）	学習・スポーツ機会を広げる		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	地方児自治法第二百四十四条の二第三項		
事業の対象	全町民、福岡都市圏住民		
事業の目的	民間活力を導入し、指定管理者との連携を図る。		
実施期間 開始年度	平成 22 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	指定管理者との連携を強化するとともに、民間活力を導入し、魅力的な施設の創造を目指す。		

目的達成の指標（成果指標）

レスポアール久山及び町民図書館の利用者数/目標数（92000人）

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	人	108,000	100,000	100,000	100,000
実績	人	66,648	81,518		

指標設定の考え方	利用者数の増加が指定管理による運営の成果と考えるため
計画時の懸案事項	現状に即した運営を行う観点から、コロナ禍でも工夫を凝らした講座を開設するなど、利用者にとって魅力ある事業内容を展開する必要がある。
計画時の懸案事項への対応	利用者アンケートを行うなど、町民のニーズの把握し、それに答える事業及びコロナ感染リスクの低い事業の企画を検討する。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　6,542 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.2	0.15
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	1,147	1,076	1,579	1,184
事業費	直接事業費	59400	59400	59400	59400
	人件費	1,147	1,076	1,579	1,184
	合計	60,547	60,476	60,979	60,584
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	60,547	60,476	60,979	60,584
	合計	60,547	60,476	60,979	60,584

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	59,400	59,400	59,400	59,400	59,400
実績	59,400	59,400			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
講座開設数	講座	20	20	20	20
		12	15		
レスポアール通信の発行	回	12	12	12	12
		12	12		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　6,540 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.15	0.2
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	1,147	1,076	1,053	1,579
事業費	直接事業費	59400	59400	59400	59400
	人件費	1,147	1,076	1,053	1,579
	合計	60,547	60,476	60,453	60,979
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	60,547	60,476	60,453	60,979
	合計	60,547	60,476	60,453	60,979

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	山邉　克彦

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

コロナ禍により、社会教育活動をはじめ生涯学習活動が大きく制限された。その中で、生涯学習の果たす役割の重要性も再認識することとなり、本施設が果たす、町民の方の生涯学習活動の場として役割は必要性が高いものと考える。
また、情報発信の観点からも、SNSや広報紙、季刊誌など積極的な情報公開を行っている。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

コロナ禍においても、可能な限り活動できるよう、感染対策の徹底や感染リスクの低い事業を実施するなどの工夫を行い、昨年度は一昨年度より3講座増加の15講座を実施し、多くの方に参加いただいた。
今後も、ウイズコロナを見据えて、実施できる事業を計画していき、町民の方の生涯学習活動の拠点としての役割を充実させていく。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	安部　憲一郎

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□　町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□　緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□　実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□　町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
□　町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□　公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□　民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□　民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□　久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□　事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□　事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□　事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□　外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
□　実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
□　受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□　事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□　ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

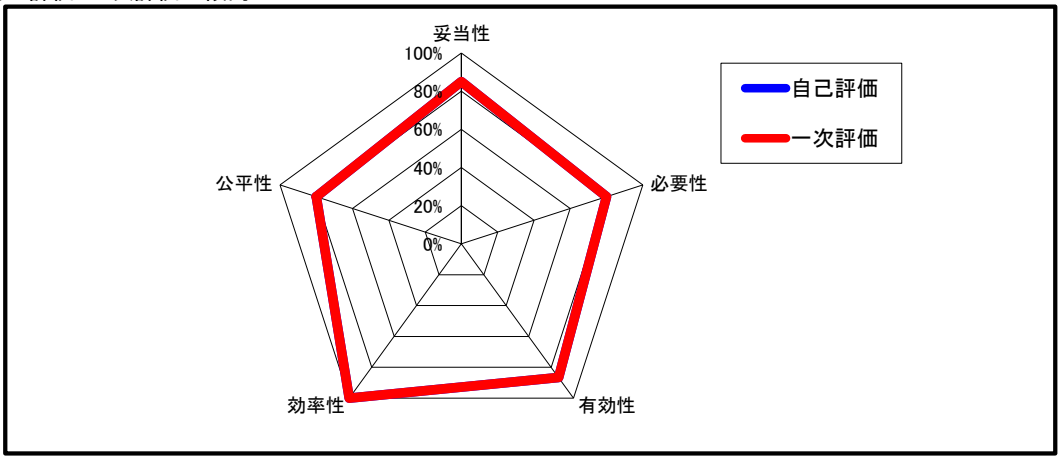
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□　A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑　B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□　C見直し	
□　D廃止	
□　E完了	

C見直しの具体的内容
□　実施方法の工夫
□　事業の効率化
□　受益者負担の適正化
□　事業縮小
□　その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

コロナ禍により、生涯学習活動が大きく制限された中で、改めて本施設の役割の重要性を認識することとなった。
㈱ミカサの指定管理者としての運営力、企画力は大変勢力的で町民の方のニーズに対する満足度も高く、丁寧に答えていると考える。
また、情報発信力も非常に高く、イベントや講座及び貸館業務や図書館の利用者もコロナ禍前に近づいてきており、今後も指定管理業務の委託を継続していきたい。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	江上　智恵

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

指定管理により、町民サービスは向上しており、評判もよい。また、新型コロナウイルス感染症拡大の際にもできることから前向きに事業に取り組んでいる。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）